

平成28年における労働災害発生状況

平成28年4月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	18	1,611	1,629	21	1,650	1,671	-42	-2.5	100.0	65	6,503	6,568
製造業	4	307	311	2	305	307	4	1.3	19.1	7	1,180	1,187
食料品	1	161	162		173	173	-11	-6.4	9.9	2	620	622
木材・家具		22	22		29	29	-7	-24.1	1.4		106	106
紙・印刷	2	9	11		5	5	6	120.0	0.7		36	36
窯業・土石		7	7		9	9	-2	-22.2	0.4		40	40
金属・機械	1	58	59	1	44	45	14	31.1	3.6	4	203	207
その他		50	50	1	45	46	4	8.7	3.1	1	175	176
鉱業												
土石採取業		1	1	1	4	5	-4	-80.0	0.1	2	22	24
建設業	7	176	183	8	181	189	-6	-3.2	11.2	25	967	992
土木工事業	2	46	48	3	68	71	-23	-32.4	2.9	8	308	316
建築工事業	1	64	65	2	65	67	-2	-3.0	4.0	5	440	445
木造建築業	1	32	33		19	19	14	73.7	2.0	4	114	118
その他	3	34	37	3	29	32	5	15.6	2.3	8	105	113
交通運輸事業		82	82	3	75	78	4	5.1	5.0	3	236	239
陸上貨物運送事業	2	217	219	1	221	222	-3	-1.4	13.4	11	738	749
道路貨物運送	2	208	210	1	215	216	-6	-2.8	12.9	10	696	706
陸上貨物取扱		9	9		6	6	3	50.0	0.6	1	42	43
港湾運送業					4	4	-4	-100.0		1	11	12
林業	2	33	35	2	20	22	13	59.1	2.1	4	98	102
水産業		33	33		23	23	10	43.5	2.0		173	173
商業		263	263		292	292	-29	-9.9	16.1	4	926	930
清掃・と畜業		85	85		119	119	-34	-28.6	5.2	1	389	390
上記以外の事業	3	414	417	4	406	410	7	1.7	25.6	7	1,763	1,770

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による
同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

業種別労働災害発生状況その2

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	8	9		15	15	-6	-40.0	0.6	1	117	118
畜産業	1	56	57		53	53	4	7.5	3.5		222	222
金融・広告業		18	18		20	20	-2	-10.0	1.1		60	60
映画・演劇業					1	1	-1	-100.0			2	2
通信業		47	47		39	39	8	20.5	2.9		117	117
教育・研究業		7	7		8	8	-1	-12.5	0.4		41	41
保健・衛生業		120	120		105	105	15	14.3	7.4		548	548
接客・娯楽業		78	78	3	93	96	-18	-18.8	4.8	3	402	405
その他の事業	1	80	81	1	72	73	8	11.0	5.0	3	254	257
合計	3	414	417	4	406	410	7	1.7	25.6	7	1,763	1,770

「第三次産業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業		263	263		292	292	-29	-9.9	16.1	4	926	930
うち小売業		212	212		242	242	-30	-12.4	13.0	4	763	767
金融・広告業		18	18		20	20	-2	-10.0	1.1		60	60
映画・演劇業					1	1	-1	-100.0			2	2
通信業		47	47		39	39	8	20.5	2.9		117	117
教育・研究業		7	7		8	8	-1	-12.5	0.4		41	41
保健・衛生業		120	120		105	105	15	14.3	7.4		548	548
うち社会福祉施設		80	80		69	69	11	15.9	4.9		368	368
うち医療保健業		36	36		34	34	2	5.9	2.2		164	164
接客・娯楽業		78	78	3	93	96	-18	-18.8	4.8	3	402	405
うち飲食店		30	30		46	46	-16	-34.8	1.8		178	178
うち旅館業		23	23	3	25	28	-5	-17.9	1.4	3	111	114
うちゴルフ場		1	1		1	1			0.1		45	45
清掃・と畜		85	85		119	119	-34	-28.6	5.2	1	389	390
その他の事業	1	80	81	1	72	73	8	11.0	5.0	3	254	257
うち警備業	1	25	26		26	26			1.6		68	68
合計	1	698	699	4	749	753	-54	-7.2	42.9	11	2,739	2,750

署別・業種別災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業	陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率		
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業		そ の 他 建 設 業	計	道 路 貨 物 運 送 業				陸 上 貨 物 取 扱 業	計						小 売 業	そ の 他 商 業
札幌中央	262	19	8	1		1	5	4		17	3	6	4	4	25	33	31	2			64	56	8	8	5	31	60	3.1%		
	270	31	16				8	7		21	7	7	1	6	23	38	37	1			55	47	8	20	9	18	55			
札幌東	336	55	29	1	3		11	11		29	8	12	1	8	23	63	59	4			89	69	20	14	12	20	31	-10.4%		
	301	49	22	1	4	1	11	10		27	2	15	3	7	29	56	52	4			64	53	11	11	6	12	47			
函館	109	35	20	5		1	6	3		11	5	3	1	2	7	14	14			2	5	14	12	2	6	1	7	7	10.1%	
	120	30	23	1	1		2	3		14	7	4	1	2	5	10	10			2	10	23	19	4	3		6	17		
小樽	48	16	8	3	1		1	3		2	2				1	6	6				6	6		1		4	12	12.5%		
	54	16	13	2			1			3	2	1			5	4	3	1			2	11	10	1			2		11	
岩見沢	49	14	3			3	2	6		3	1	1		1	7	7				1		6	6		1	1	6	9	-2.0%	
	48	7	3				2	2		8	5	1	2		1	10	10				6	4	2	3	2	3	8			
旭川	125	16	8	4			2	2		14	7	3	1	3	5	13	13				25	20	5	7	4	10	30	1.6%		
	127	28	10	3	1	1	7	6		15	4	4	4	3	5	19	18	1		4	20	15	5	4	1	10	21			
帯広	124	24	22					2		13	3	6	2	2	4	19	19			8	15	12	3	1	2	7	29	2.4%		
	127	34	22	3			7	2		11	1	5	4	1	1	18	18			9	18	15	3	2	1	6	27			
滝川	44	10	5	1	1		2	1		6	5	1			1	6	6				4	3	1	3	3	3	7	11.4%		
	49	14	2	2	2	1	3	4	1	8	1	2	4	1	1	4	4			1	7	6	1	2		1	10			
北見	77	21	11	5		2	1	2		12	4	6		2	1	7	7			3	2	8	8		3	5	6	9	2.6%	
	79	15	11	4						14	3	6	5		2	12	12			6		10	7	3	5		3	12		
室蘭	47	11	7			1	2	1		9	2	3	3	1		5	5				6	5	1	5		4	6	-2.1%		
	46	11	5	1			3	2		5	2	2		1	1	2	2				10	8	2	4	1	4	8			
釧路	155	36	27	2			4	3		31	17	12	1	1	5	14	14		1	3	7	18	16	2	7	2	10	20	-25.2%	
	116	30	14		1		6	9		14	1	6	4	3	2	14	13	1		3	14	10	9	1	7	1	9	12		
名寄	35	11	5	1			2	3		8	1	3	2	2	2	2	2				3	2	1	1	1	1	6	-11.4%		
	31	7	3	2	1		1			7	2	3	2								3	3		3	2	1	8			
留萌	26	1	1							7	4	2	1			3	3				1	4	3	1	2	2	6	-50.0%		
	13	3	2					1		3				3		1	1				4	1	1				1			
稚内	25	4	4							3	2		1			4	4			2	2	3	3		1		5	12.0%		
	28	6	5	1						6	3		1	2	1	2	2			1		1		1	4		4		3	
浦河	42	2		2						5	2	2	1							2	4	4	3	1	1	1	23	26.2%		
	53	1	1							5	2	1	1	1	1	1	1			4	3	1	1		3		34			
苫小牧	143	28	11	4		1	7	5		13	4	4	1	4	3	26	26		3	1	1	20	17	3	8	6	7	27	-9.1%	
	130	25	6	2	1	4	8	4		16	5	6		5	3	26	25	1		2	20	13	7	8	5	5	20			
倶知安	24	4	4							6	1	3		2							3	1	2		1	2	8	54.2%		
	37	4	4							6	1	2	1	2	2	2	2			3		3	1	2	1	2	13			
合計	1,671	307	173	29	5	9	45	46		5	189	71	67	19	32	78	222	216	6	4	22	23	292	242	50	69	46	119	295	-2.5%
	1,629	311	162	22	11	7	59	50		1	183	48	65	33	37	82	219	210	9		35	33	263	212	51	80	30	85	307	
対前年比増減率	-2.5%	1.3%	-6.4%	-24.1%	120.0%	-22.2%	31.1%	8.7%		-80.0%	-3.2%	-32.4%	-3.0%	73.7%	15.6%	5.1%	-1.4%	-2.8%	50.0%	-100.0%	59.1%	43.5%	-9.9%	-12.4%	2.0%	15.9%	-34.8%	-28.6%	4.1%	

(注) 本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成28年における死亡災害発生状況 [速報]

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業 種	平 成 28 年		平 成 27 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全 産 業	18 (4)	100.0	21 (5)	100.0	-3	-14.3	-2	-12.5
製 造 業	4 (0)	22.2	2 (0)	9.5	2	100.0	2	100.0
鉱 業	0 (0)	0.0	1 (0)	4.8	-1	-100.0	-1	-100.0
建 設 業	7 (3)	38.9	8 (2)	38.1	-1	-12.5	-2	-33.3
交通運輸事業	0 (0)	0.0	3 (1)	14.3	-3	-100.0	-2	-100.0
陸上貨物運送事業	2 (1)	11.1	1 (0)	4.8	1	100.0	0	0.0
港湾運送業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
林 業	2 (0)	11.1	2 (0)	9.5	0	0.0	0	0.0
その他の事業	3 (0)	16.7	4 (2)	19.0	-1	-25.0	1	50.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成28年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業種	平成28年		平成27年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	3 (0)	100.0	4 (2)	100.0	-1	-25.0	1	50.0
小売業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
医療保健業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
社会福祉施設	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ビルメンテナンス業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
警備業	1 (0)	33.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—
農業・畜産業	2 (0)	66.7	0 (0)	0.0	2	—	2	—
水産業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
その他	0 (0)	0.0	4 (2)	100.0	-4	-100.0	-2	-100.0

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成28年 死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他 の事業	合計									
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業														
年別																									
平成18年	10	1		1	29	10	5	3		6	5	24	93												
平成19年	8		1		26	14	3	5		5	4	24	90												
平成20年	9	3		1	28	12	2	1		8	1	19	81												
平成21年	3	1			30	6	1	1	1	1	5	21	69												
平成22年	5				22	15	1	3	1	11	9	27	94												
平成23年	4	1		3	10	14	1		1	5	6	21	65												
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83												
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64												
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65												
区分 月別 年別	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	
平成 27 年	1月						2	2			1	1					1	1			1	1	5	5	
	2月					1	1	2			2	3						1			1	2	4	9	
	3月	2	2			1	3	1	1		3							1			2	4	6	15	
	4月		2			1	5	8	1	1		3					1	2				4	6	21	
	5月		2			1	1	9		1		3			1	1				3	7	5	26		
	6月		2				1	5	14		1		3	1	1							7	6	32	
	7月		2			1	2	1	15	1	2		3		1							2	9	5	37
	8月		2				2	4	19		2		3		1							1	10	5	42
	9月	1	3				2	2	21	1	3		3		1			1	3				10	5	47
	10月	1	4				2	2	23	2	5		3		1			1	3				10	5	52
	11月	1	5				2	2	25	2	7		3		1			1	4				10	6	58
	12月	2	7				2	2	25	3	10		3		1			1	4			2	12	7	65
平成 28 年	1月	1	1					2	2															3	3
	2月		1					3	5	1	1											2	2	6	9
	3月	1	2					5	1	2									2	2			2	4	13
	4月	2	4					7	2	2												1	3	5	18
	5月																								
	6月																								
	7月																								
	8月																								
	9月																								
	10月																								
	11月																								
	12月																								
対前年 同期比	件数	2	2	±0	±0	±0	±0	±0	-1	-3	-1	±0	1	±0	-3	±0	±0	±0	±0	-1	±0	±0	±0	±0	±0
	百分率	-	100.0	±0	±0	±0	±0	±0	-100.0	-60.0	-12.5	±0	100.0	±0	-100.0	±0	±0	±0	±0	-100.0	±0	±0	±0	±0	±0

平成28年 署別・業種別死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他の事業	合計
	製造業	うち木材木製品製造業	鉱山保安法適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央					1								1
札幌東	1				1								2
函館													
小樽												1	1
岩見沢													
旭川	2				2								4
帯広													
滝川						1						1	2
北見										1		1	2
室蘭													
釧路						1							1
名寄					1								1
留萌													
稚内					1								1
浦河													
苫小牧	1				1					1			3
倶知安													
計	4				7	2				2		3	18

平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年4月30日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号																											
	1 業	2 業	3 業	4 業	5 業	6-2 業	7-2 業	その他 業	計	11 機	12 機	13 機	14 機	15 機	16 機	17 機	21 機	22 機	23 機	31 機	32 機	33 機	34 機	35 機	36 機	37 機	39 機	41 機	51 機	52 機	61 機	71 機	91 機	92 機	99 機			
1	38			64	62	2	1		3		85	255				9		1		5	60	1					56	2	94		2	2	23					
2	86			24	65	49	3		3	5	364	599				2		1			12	6			2	7	11	5	179		8	6	351		9			
3	15			15	11	1	1			1	27	71				4		3			13	4					4	5	4	17		1	4	11		1		
4	14		1	11	9	1	2			11	15	64				1	3		5		2	5	1				1	3	1	2		11	10	18	1			
5	10			5	5					4	1	13	38			1		1			1	1	1			5	3	3	1		4	10	7					
6	12			10	7	1				10	2	27	69				1	3		2	2	9	5	3			7	3		5		2	2	23	2			
7	68			16	14	3	1			1	11	50	164			2	4	7	7	46		8	26	8			1	10	3	6	5		9	10	12			
8	28			15	3	1				3	2	43	95				18	1	9	16						34	3	1	1		7		3					
9	1												1																									
10																																						
11	10				1	1					3	11	26								1			1			2	1		2	3	4		4	2		5	1
12				2									2																	1	1							
13	1												1																									
14																																						
15					1								1									1																
16											1		1																									
17	7			13	13	20					3	42	98									21	76															
18																																						
19	18			7	19	3	1				4	85	137				1		1			5	3				2	2	4	29		3	20	13	4	50		
90	2										1	4	7																						1	5	1	
99																																						
合計	310		1	182	210	82	9		35	33	767	1629		2	24	32	16	76	2	25	150	104	2		2	2	2	72	92	31	333	6	51	64	467	13	61	

平成28年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	11時台	パルプ・紙・紙加工 工業製造業	50人以上 99人	崩壊・倒壊	荷	被災者は、古紙保管ヤード内で古紙ペール(古紙を圧縮した直方体で番線結束したもの。)のはい崩しに従事していたが、古紙2個がフォークリフトにより抜き取られ、その後にパレットの片づけ作業で被災者が古紙に近づいた時、11個の古紙が崩壊しその下敷きになったもの。
28	3	11時台	一般機械器具製造業	50人以上 99人	激突され	動力クレーン等	被災者は、長さ約8m、幅約20cm、重量約600kgの鉄骨部材の下に垂木を配置するため鉄骨部材の近くで待機していたが、別の作業者が天井クレーンで鉄骨部材をつり上げようと地切りした際、鉄骨部材が横にずれて隣に置いてあった同形状の鉄骨部材に激突し、激突された鉄骨部材が被災者側へ倒れて下敷きとなったもの。
28	4	8時台	パルプ・紙・紙加工 工業製造業	100人以上 299人	はさまれ・巻き込	一般動力機械	被災者は、製紙工場において、抄造中に断紙したため、復旧のため湿紙を取り除く作業を行ったところ、抄造マシンの回転していたロール機の間挟まれたもの。
28	4	8時台	食品製造業	30人以上 49人	はさまれ・巻き込	動力クレーン等	被災者は、1階から2階に上昇していたエレベーターが途中で停止したため、エレベーターの動力を切り、2階の昇降路の扉を開け、上半身だけ搬器に入り、停止した原因である積み荷の引っ掛かりを取り外していたところ、搬器が落下したため、搬器の天井と2階の床先との間に挟まれたもの。

平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	13時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、斜面下方において斜面に堆積させていた土砂をドラグショベルを使用してダンプに積み込む作業を行ってところ、斜面の土砂が突然崩れ、ドラグショベルが横倒しとなって土砂に埋まり、約2時間半後に救出されたが死亡したものの。
28	1	12時台	建築工事業	10人以上29人	有害物等との接触	危険物・有害物等	マンション新築工事において、廊下のコンクリート壁及び天井に玉吹き塗装を行っていた被災者ら2名が倒れているのを、別の工事業者が発見したものの。窓、戸等の開口部は塗装養生シートで密閉されており、玉吹き塗装にガソリンエンジン式のコンプレッサーを使用していた。被災者とともに発見された1名については調査中。
28	2	13時台	その他の建設業	10人未満	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったものの。
28	2	13時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったものの。
28	2	12時台	その他の建設業	10人以上29人	交通事故（道路）	建設用等機械	電柱建替工事現場に行くため、事業場から高所作業車を運転し、国道（片側1車線）を走行していたところ、吹雪のため減速運転していた大型トラックに追突したものの。
28	4	15時台	土木工事業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物	被災者は、水道工事現場の道路上において、ランマーを使用して地盤を締め固めしていたところ、通行止めの看板及びバリケードを突破してきた乗用車に激突され、停車していた4トンダンプカーと当該乗用車との間に挟まれたものの。
28	4	7時台	建築工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、会社から工事現場に向かうため4トンダンプを運転し道道を走行中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし横転し、頭を強く打ったものの。現場は片側一車線で、事故当時路面は乾燥していた。

平成28年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	7時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、雪の排雪作業を行うためダンプトラック3台で片側1車線の国道を走行中、先頭を走行していた被災者のダンプトラックが右カーブに差し掛かった時、路肩に立っていた電柱に激突して横転したもの。路面は乾燥していた。
28	3	10時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	激突され	仮設構築物、建築物等	被災者は、事業場の交通安全旗の金属製ポールが古くなって錆びていたため撤去作業中、トラクターショベルのバケットに乗り、高さ約6mの位置に繊維ベルトを掛けて地上に降りた後、被災者が繊維ベルトを引っ張ったところポールが倒れ、被災者の頭部に当たったもの。

平成28年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、皆伐作業現場で単独にてチェーンソーを用いて伐倒作業をしていたが、被災者が休憩時間になっても土場に戻らなかったため同僚が様子を見に行ったところ、木の下敷きとなっている被災者を発見した。被災者が下敷きとなった伐倒木は、胸高直径43センチメートル、高さ31メートルのカラマツであった。
28	3	13時台	林業	10人未満	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者と同僚2名がブルドーザーの運転席以外の場所に乗車し、土場から作業現場まで移動した後、作業現場に到着した当該ブルドーザーが帰路に向けて方向転換するために旋回し後退した時、ブルドーザー後部(ウインチ部)に乗車していた被災者が、後退中のブルドーザーに轢かれたもの。

平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	9時台	農業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、同僚と2名でD型倉庫屋根に上り除雪作業をしていたところ、屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7メートル墜落したものの。
28	2	5時台	その他の事業	100人以上299人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、ビルの守衛業務を朝9時から24時間行う予定であったが、翌朝、入社してきた同僚が踊り場に倒れている被災者を発見したものの。階段を踏み外して踊り場に転落し、壁に頭を打ち付けたものと推定される。
28	4	7時台	畜産業	10人未満	激突され	荷	被災者は、他の労働者と車両系建設機械のバケットを小型移動式クレーンを用いてトラックの荷台へ積込む作業中、他の労働者が小型移動式クレーンを運転して地切りした際、バケットの重心が移動してバケットが回転したため、バケット付近にいた被災者の足下がすくわれると同時にバケットからフックが外れ、バケットとともに被災者が用水路へ転落し、用水路の法面と当該バケットの間に挟まれたものの。

前月把握分

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
28	4	8時台	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 製 造 業	100 人 以 上 299 人	は さ ま れ ・ ま れ ・ 巻 き 込	一 般 動 力 機 械	被災者は、製紙工場において、抄造中に断紙したため、復旧のため湿紙を取り除く作業を行ったところ、抄造マシンの回転していたロール機の上に挟まれたもの。
28	4	8時台	食 料 品 製 造 業	30 人 以 上 49 人	は さ ま れ ・ ま れ ・ 巻 き 込	動 力 ク レ ーン 等	被災者は、1階から2階に上昇していたエレベーターが途中で停止したため、エレベーターの動力を切り、2階の昇降路の扉を開け、上半身だけ搬器に入り、停止した原因である積み荷の引っ掛かりを取り外していたところ、搬器が落下したため、搬器の天井と2階の床先との間に挟まれたもの。
28	4	15時台	土 木 工 事 業	10 人 以 上 29 人	交 通 事 故 （ 道 路 ）	乗 物	被災者は、水道工事現場の道路上において、ランマーを使用して地盤を締め固めていたところ、通行止めの看板及びバリケードを突破してきた乗用車に激突され、停車していた4トンダンパーと当該乗用車との間に挟まれたもの。
28	4	7時台	畜 産 業	10 人 未 満	激 突 さ れ	荷	被災者は、他の労働者と車両系建設機械のバケットを小型移動式クレーンを用いてトラックの荷台へ積込む作業中、他の労働者が小型移動式クレーンを運転して地切りした際、バケットの重心が移動してバケットが回転したため、バケット付近にいた被災者の足下がすくわれると同時にバケットからフックが外れ、バケットとともに被災者が用水路へ転落し、用水路の法面と当該バケットの間に挟まれたもの。
28	4	7時台	建 築 工 事 業	30 人 以 上 49 人	交 通 事 故 （ 道 路 ）	動 力 運 搬 機	被災者は、会社から工事現場に向かうため4トンダンプを運転し道道を走行中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし横転し、頭を強く打ったもの。現場は片側一車線で、事故当時路面は乾燥していた。